

7 月 17 日 年間第 16 主日

優先するものの正しさ

ルカによる福音書 10 章 38～42 節

³⁸一行が歩いて行くうち、イエスはある村にお入りになった。すると、マルタという女が、イエスを家に迎え入れた。³⁹彼女にはマリアという姉妹がいた。マリアは主の足もとに座って、その話に聞き入っていた。⁴⁰マルタは、いろいろのもてなしのためせわしく立ち働いていたが、そばに近寄って言った。「主よ、わたしの姉妹はわたしだけにもてなしをさせていますが、何ともお思いになりませんか。手伝ってくれるようにおっしゃってください。」⁴¹主はお答えになった。「マルタ、マルタ、あなたは多くのことに思い悩み、心を乱している。⁴²しかし、必要なことはただ一つだけである。マリアは良い方を選んだ。それを取り上げてはならない。」

他の朗読：創世記 18:1～10 詩編 15:1～5 コロサイ 1:24～28

Lectio …読む

マルタはイエスを自宅での食事に招待します。恐らくマルタとマリアはラザロの姉妹であるようですが（ヨハネ 11 章 1、2 節）、確証はありません。

マルタが食事の支度をしている間に、イエスは教え続けます。マリアはマルタを助けず、留まってイエスの話に耳を傾けています。「イエスの足もとに座って」という表現は意味深いものです。他の場面で弟子と先生の間接関係を描くために使われている表現です（ルカ 8 章 35 節）。イエスは、当時の文化の規範から徹底的に離れ、女性に神の国について学ぶように励ましています。

今回ルカは、イエスが何について話していたのか明かしていません。焦点はマルタとマリア、そして彼女たちのイエスに対する応対にあります。マルタはいらいらしています。彼女は支度に必要な仕事を全部するよう取り残され、マリアは彼女を手伝いません。彼女はイエスに不平を言って、マリアに手伝ってくれるよう頼むことに同意を求めています。

マルタはイエスの答えに驚いたことでしょう。イエスの答えは、食事の支度に関する家庭内のありふれた、こまごまとした事柄をはるかに超えています。イエスはマルタが物質的な必要を霊的な必要より優先したことで、優しく彼女を諭します。マリアの方が、イエスの話を聞き、イエスから学ぶ時間を持つことによって正しいことを優先させたのです。

イエスは家事や家庭内の仕事が大切ではないとは言っていません。イエスはナザレの家族の中で育てられ、家族の必要に応えようとする家庭の日常性の価値を承知していました。正しいことを優先させることの大切さをイエスは強調しているのです。まず第一に神の国が優先されなければならない、これは男に対しても、女に対しても、等しく真実なのです。

家族の必要のために時間を割くことは大切です。それにもまして重要なことは、疲れすぎていたり、他のことに気を取られたりしていない時間を割き、神と共に過ごす時間を持つことなのです。

これはマルタに対してのチャレンジでした。彼女は物質的な必要を大事にしすぎて、霊的なものを軽んじてしまったので、イエスから学ぶ大切な機会を逃してしまっていたのです。

Meditatio …黙想する

あなたはこの物語で、マルタとマリアのどちらにより共感できますか。この箇所から何を学ぶことができるでしょうか。

あなたの日常生活で何を優先しているかについて考えてみましょう。あなたは神との関係を十分に

優先していますか。

私たちは皆、私たちが与えられた時間の中で求められていることに責任があります。あなたの日常の仕事や責任の果たし方において、どのように神に仕え、神を敬うことができるか考えてみましょう。

Oratio …祈る

この福音の箇所をもう一度読んでみてください。祈りの中であなたの置かれた状況について神と語り合ってみましょう。神は私たちが困惑させうる日常的なプレッシャーや疲れを分かっています。あなたが抱えているどんな心配でも、主のもとに持ちかけてみましょう。

詩編 15 編を通して、祈る時間を持ちましょう。あなたの心に響くことばを見つけ、それを神にさげましょう。神があなたに示そうとしているものに気づくまで待ちましょう。

Contemplatio …観想する

コロサイ人への手紙からの今日の聖書箇所を読んでみてください。福音が私たちに示していることが、いかにすばらしい恵みであるかということに驚きを感じましょう。この神秘があなたの中で深められるよう聖霊の導きを願いましょう。